

# 経済価値評価に関するWebサイトの作成方針について（案）

## 基本条件と作成コンセプト

- 目的： 生物多様性及び生態系サービスの経済価値評価に関する情報を一元的に集約し、情報提供の基盤となるweb サイトを作成する。
- サイト設置箇所： 環境省サイト内へ構築する。

## 作成スケジュール等

- 工程： 平成24年内を目標にweb サイト（仮）を作成し、仮サーバーに登録する
- 検討委員への依頼事項： 仮web サイトの検討会前の照査（サーバーURLを電子メールで連絡いたしますので、感想等を事務局までお知らせください）

## 作成イメージ



## トップページ

**ポイント**  
導入部分であり、興味をひくための工夫が必要（図表や写真）

**掲載内容**

- ・サイト作成の主旨説明
- ・経済価値評価の背景や動き等の概要の紹介
- ・サイトの構成
- ・連絡先・問い合わせ先（生物多様性施策推進室）

## 生物多様性の価値 生態系サービスの紹介

**ポイント**  
生物多様性・生態系サービスが有する価値や、人間の生活とも関わりが深いことの紹介

**掲載内容**

- ・生物多様性に関する説明は、構築先の「わかるー生物多様性とは」へのリンクとする。
- ・生物多様性・生態系サービスの価値については、環境省がTEEB普及啓発用パンフレットに整理した内容を再整理するとともに、専門書籍や環境関連機関発行の資料を参考に情報を補完する。

## 経済価値評価手法

**ポイント**  
経済価値評価の紹介に加えて、評価の不確実性や、評価にあたっての留意点を紹介

**掲載内容**

- ・経済価値評価の必要性を、改訂中の生物多様性国家戦略や専門書籍、環境関連機関発行の資料を参考に説明する。
- ・専門書籍等を参考に、経済価値評価手法の一覧表を作成するとともに、各手法の使用例を事例をまじえて紹介する。
- ・経済価値評価手法が生物多様性保全に有用なツールである反面、まだ研究段階の部分があり不確実性が存在することを説明する。  
(例： 同じ評価対象を異なる手法で評価した場合の経済価値の違いの事例を紹介するなど)。

## 作成にあたっての留意点

項目	対応案（作成コンセプト）
閲覧対象の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閲覧対象は大よそ高校生以上を想定する。</li> <li>・ 生態系や経済価値評価を専門としてない方も閲覧することを想定する。</li> </ul>
興味をひく工夫、分かりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門でない方への配慮として、文章はかみくだいた平易な文章とするほか、専門用語には必要に応じて注釈等を付記する。</li> <li>・ 視覚的に分かりやすくまた興味をひくような工夫をする（イラスト、図、写真等の活用）</li> </ul>
整合・重複	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境省が作成しているWebサイトや発行資料との整合を図るほか、無用な重複は避けるよう、作成にあたっては、事前に他のページや環境省発行資料の記載情報を把握する。</li> </ul>

## 経済価値評価事例

**ポイント**  
経済価値評価結果の活用事例（施策等にどう使われたのか）までを紹介

**掲載内容**

- ・ 本業務での成果（2ケース）を含み、国内外、各10程度の事例を詳細に紹介する。
- ・ ページの最初に、紹介する事例の概要を説明する一覧表を設ける（地図による事例地例示等も検討する）。
- ・ 掲載する事例は、アドバイザーの指導を受けながら選定するが、現在のところ、以下のような事例を想定している。
  - 本検討会の成果（奄美群島国立公園指定、シカ食害対策）
  - 国土交通省の河川環境整備事業評価事例
  - アドバイザーの研究成果
  - 海外の事例
- ・ 事例は以下の内容について整理する。
  - 整理する事項：評価に至った経緯、評価手法、評価対象、評価実施主体、評価結果、評価結果の活用方法。

## その他の関連情報

**ポイント**  
これから、生物多様性が有する生態系サービスの経済価値評価に挑戦する人を対象にした参考資料集を作成。

**掲載内容**

- ・ 書籍リスト
- ・ 専門家リスト（専門家個人のホームページへのリンクを含む）
- ・ 関連組織や機関リスト（TEEBなど。ホームページへのリンクを含む）
- ・ 本業務を通して収集した資料のうち、インターネット上に掲載されていない有用な資料は、作成者の承諾が得られればPDF化したものを掲載する。